

令和3年度ホタテガイ採苗情報（第8報）

令和3年6月2日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



唐丹湾で付着稚貝・ラーバ減少。広田湾で付着継続。

<調査結果の概要>

- 唐丹湾の水深10m層の水温は12.8℃で、昨年度同時期と比較して2℃高くなっています。透明度は11mでした。
- 唐丹湾において、ホタテガイ付着稚貝が27個/袋（採苗器7日間垂下）確認され、付着数は前回に引続き減少しました（144個→27個/袋/週）。付着直後の個体も少なく、前回まで継続していた付着は落ち着いたものと考えられます。広田湾泊においては、付着数が前回に引続き増加しました。
- 唐丹湾のホタテガイラーバは、殻長200μm未満の小型個体が44個/m³、200μm以上の大型個体が19個/m³確認され、ラーバ数も減少しました（192個→63個）。

<青森県の状況（5月27日発行ホタテガイ採苗速報（第7号））>

付着稚貝調査を実施。西湾で平年値並み、東湾で平年値の6割程の付着数。

<宮城県の状況（5月27日発行ホタテガイ採苗通報（第6報））>

ラーバは小型～大型が確認され大型はわずか。付着稚貝は継続して確認。

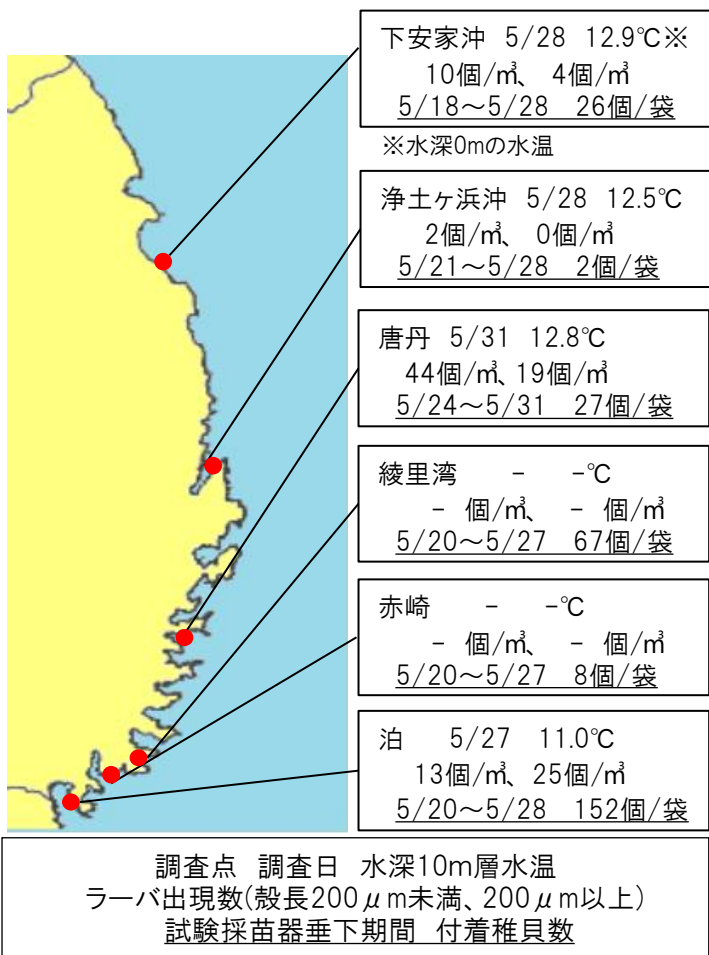


図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月9日頃に
発行する予定です。

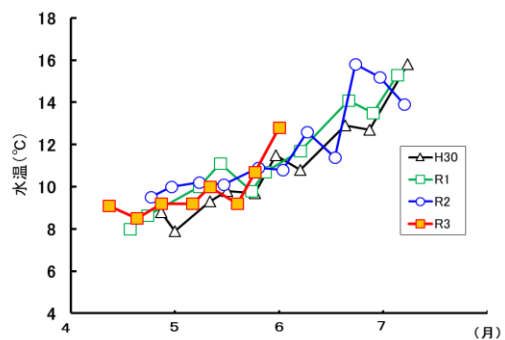


図2 唐丹湾における水深10m水温

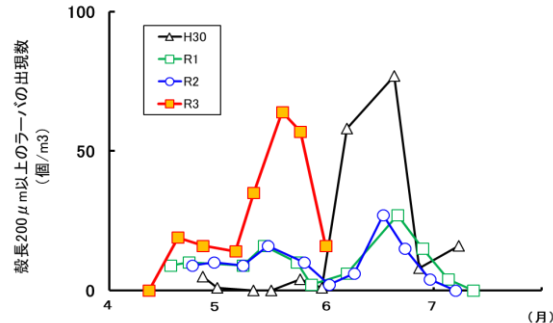


図3 唐丹湾における殻長200μm以上ラーバ出現数

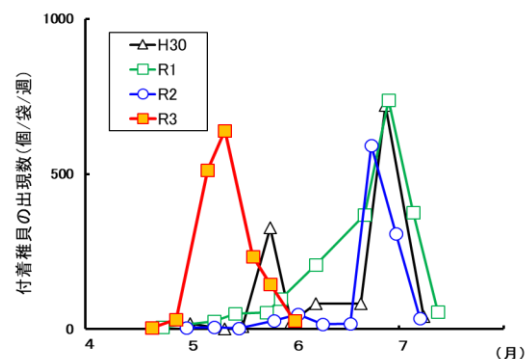


図4 唐丹湾における1週間あたりの付着数